

### 多文化共生サポートは

**Q** 外国の児童生徒や保護者に対し、学校ではどのように言語サポートをするのか。

**A** 授業では、児童生徒に母国語で説明するサポートをしている。保護者の教育相談や連絡事項の通訳もしている。

### 町政モニター事業は

**Q** 現在、町政モニター事業として毎年住民アンケートを行っている。新たに設ける制度の内容は。

**A** 本年度からスタートする第5次総合計画の満足度アンケートを毎年実施し、住民の満足度を高めていきたい。

### 相談者のプライバシーは

**Q** 福祉会館が直営となり1年経過したが、相談者のプライバシーに配慮した相談場所作りや、関係機関との連携は。

**A** 相談室は個室3部屋でプライバシーに配慮して対応している。今後も関係機関との連絡を密にしていきたい。

### 小中学生の防災教育費は

**Q** 小中学生が地震や豪雨などの災害時に、身を守るための訓練や、防災教室の予算と計画は。

**A** 自然災害時の学校生活における様々な場面や状況を想定し、関係機関と連携し防災訓練に取り組む。

### 全ての新生児に聴覚検査を

**Q** 出生後に新生児聴覚検査を受けることで、聴覚に関する異常の早期発見、対応が図られる。通知方法は。

**A** 4月1日からの母子健康手帳交付時に助成券を渡す。3月31日以前に交付された方は病院で助成券を受け取る。

### 投票所の再編は

**Q** 投票区再編時にパブリックコメントを実施し、投票所の場所などについて、住民からの意見はあったのか。

**A** 住民の意見はなかった。第7投票区は、西幼稚園より利便性が高い南部子育て支援センターを投票所に決定した。



▲改修により快適な野添コミセンに



▲シニアクラブの清掃活動



▲頭を守って避難訓練



▲新たな投票所 南部子育て支援センター

### 外壁のアスベスト調査は

**Q** 野添コミセンは42年前に建築され、外壁にアスベストが使用されている疑いがある。改修時の調査は。

**A** 調査の結果、外壁塗装の一部にアスベストが含まれることが判明している。飛散防止処置を施し全て除去する。

### HSC研修の実施は

**Q** HSCへの理解は児童生徒の可能性を広げ、教職員の資質向上にもつながる。HSC研修を実施すべきでは。

**A** 多様な特性を理解することは重要だと考えている。前向きに検討したい。  
※HSCとは、周囲の刺激に敏感で傷つきやすい子ども

### 老人クラブの条件緩和を

**Q** 老人クラブを立ち上げるには最低30人以上が条件となっている。30人以下でも活動の補助金を。

**A** 県の補助要綱では、設立の条件は30人以上であり、県と同じ条件を採用している。

### 防犯連絡所の位置把握を

**Q** 防犯連絡所の位置を、行事の際に子どもたちに周知している地域がある。全町での取り組みが必要では。

**A** 地域の取り組みについて、防犯協会や自主防災会などで、機会があれば先進事例として紹介したい。

### 水道事業の経営効率化は

**Q** 水道料金改定の審議も必要だが、滞納に対して、どのような取り組みをしているのか。

**A** 水道料金の滞納整理マニュアルに基づき、相談などもなく、2期分以上滞納したら停水するなど早期未収金回収に努めている。

### テレワークで就労支援を

**Q** 障がい者の就労支援として、テレワークが有力な手段となると考えるが、町として活用する予定は。

**A** 在宅ワークも含め、県やハローワーク、町内企業などと、活用について研究していく。